



2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月29日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9265 URL <http://yhchd.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役執行役員社長(氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員(氏名) 伊藤 秀憲 (TEL) 092-402-2922
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	15,528	△2.8	66	△35.2	83	△34.3	50	△41.3
2020年5月期第1四半期	15,980	11.9	101	—	126	—	86	—

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 113百万円(37.0%) 2020年5月期第1四半期 83百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	19.88	—
2020年5月期第1四半期	33.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	20,526	6,914	33.7
2020年5月期	21,425	6,938	32.4

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 6,914百万円 2020年5月期 6,938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	54.00	54.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	0.00	—	41.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,108	△2.4	524	△6.3	578	△10.0	345	△24.8	135.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年5月期1Q	2,553,000株	2020年5月期	2,553,000株
2021年5月期1Q	114株	2020年5月期	114株
2021年5月期1Q	2,552,886株	2020年5月期1Q	2,552,929株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本年4月に政府が緊急事態宣言を発出したことなどにより、消費マインドの著しい低下がみられました。緊急事態宣言の解除後は徐々に経済活動再開の動きが見られるものの、企業収益や個人消費の回復には一定の時間を要することが予想されるなど、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、本年7月に閣議決定された経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太の方針）において、医療提供体制の強化等が盛り込まれ、医療機関間での医療従事者の協力だけでなく、都道府県を越えた病床の利用、医療従事者の配置等を調整する仕組み等が提示されております。しかしながら、医療従事者は依然として新型コロナウイルスへの感染リスクを負いながら診断・治療にあたっており、また、通常診療の抑制や外来患者数の減少等もあり、医療機関の経営環境は非常に厳しい状況が続いております。

医療機器業界におきましては、地域医療構想の実現に向けた各医療機関の統合・再編に伴う需要が拡大する一方、本年4月の診療報酬改定にて医療材料価格が0.02%の引き下げとなるなど、医療材料の価格下落が続いております。各企業は、コロナ禍における医療機関の経営改善に資するサービスの提案力に加え、価格競争力やコスト削減による収益力の向上がより一層求められており、企業間の競争はますます激化しております。

当社グループにおきましても、取引先医療機関において全般的に外来患者数が減少し、また手術、検査・処置症例の減少も継続する中、中核事業である医療機器販売業において内視鏡や循環器関連の消耗品の売上が減少するなどの影響がみられております。また、一般機器分野や低侵襲治療分野等の事業分野においても、各種検査装置等の備品販売の商談遅延や見送りなど、コロナ禍による営業活動への制約が生じております。

このような中、当社グループでは、グループの事業会社4社それぞれが許容される範囲で営業活動を行うとともに、グループ企業間の相互連携を促進し、医業経営全般に渡る企画提案力を高める等、市場競争力の強化に取り組んでおります。また、充実した物流網を活かしたS P D事業の推進、電子カルテシステム等の医療情報システムの提案やクリニックの開設・移転・リニューアルをサポートする新規開業支援などを通じて、医療機関の経営を支援することにより、グループ全体での市場価値を高める取り組みを行っております。

また、外部企業と業務提携して進めている新型輸液装置の販売・レンタルや、医療機関向けICTサービス、注射調剤・監査支援システム等の新規商材の取り扱いについては、当社グループのサービス事業の多角化を図るため、市場への着実な浸透を目指しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は155億28百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。利益面につきましては、設備管理費等の販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は66百万円（前年同四半期比35.2%減）、経常利益は83百万円（前年同四半期比34.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50百万円（前年同四半期比41.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、CT、MRI等の画像診断機器や手術室関連機器等の医療機器備品の売上減少により22億53百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。一般消耗品分野では、医療機器消耗品の売上増加により54億60百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品の売上減少により37億12百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、レーザー治療機器等の皮膚・形成備品の売上増加により26億93百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、設備保守メンテナンスの売上増加により12億97百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は154億17百万円（前年同四半期比2.9%減）、セグメント利益は2億50百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	2,590	16.3	2,253	14.6	△337	87.0
一般消耗品分野	5,449	34.3	5,460	35.4	11	100.2
低侵襲治療分野	4,046	25.5	3,712	24.1	△333	91.8
専門分野	2,585	16.3	2,693	17.5	108	104.2
情報・サービス分野	1,213	7.6	1,297	8.4	84	106.9
小計	15,884	100.0	15,417	100.0	△467	97.1

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しており、売上高は1億9百万円（前年同四半期比39.2%増）、セグメント利益は28百万円（前年同四半期比70.5%増）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は15百万円（前年同四半期比10.0%減）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は205億26百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億98百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて9億95百万円減少し、150億75百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて97百万円増加し、54億51百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、電子記録債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて8億74百万円減少し、136億12百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて23百万円減少し、69億14百万円となり、自己資本比率は33.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想につきましては、2020年7月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,012,563	795,355
受取手形及び売掛金	10,148,615	11,266,164
商品	2,727,404	2,816,133
その他	199,668	215,828
貸倒引当金	△17,039	△18,220
流動資産合計	16,071,211	15,075,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,622,958	3,658,175
減価償却累計額	△1,807,954	△1,815,266
建物及び構築物（純額）	1,815,004	1,842,909
土地	1,649,301	1,649,301
その他	670,491	707,096
減価償却累計額	△597,537	△601,367
その他（純額）	72,953	105,729
有形固定資産合計	3,537,259	3,597,940
無形固定資産		
のれん	98,000	94,500
その他	62,726	58,921
無形固定資産合計	160,726	153,421
投資その他の資産		
投資有価証券	999,001	1,087,727
関係会社株式	58,958	58,927
その他	608,287	563,513
貸倒引当金	△10,212	△10,212
投資その他の資産合計	1,656,034	1,699,955
固定資産合計	5,354,020	5,451,317
資産合計	21,425,232	20,526,578

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,466,127	7,821,236
電子記録債務	4,945,892	3,990,713
未払法人税等	132,552	16,189
賞与引当金	457,955	94,495
短期借入金	—	400,000
その他	733,202	593,691
流動負債合計	13,735,731	12,916,326
固定負債		
退職給付に係る負債	483,383	423,568
その他	267,855	272,420
固定負債合計	751,239	695,988
負債合計	14,486,970	13,612,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,796	627,796
利益剰余金	5,289,333	5,202,239
自己株式	△184	△184
株主資本合計	6,410,970	6,323,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576,284	636,247
退職給付に係る調整累計額	△48,993	△45,859
その他の包括利益累計額合計	527,291	590,387
純資産合計	6,938,261	6,914,263
負債純資産合計	21,425,232	20,526,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
売上高	15,980,463	15,528,907
売上原価	14,436,322	13,983,766
売上総利益	1,544,141	1,545,141
販売費及び一般管理費	1,442,340	1,479,128
営業利益	101,801	66,012
営業外収益		
受取利息	86	60
受取配当金	3,510	3,376
仕入割引	6,710	5,418
持分法による投資利益	5,472	—
受取手数料	5,109	5,301
その他	6,092	5,913
営業外収益合計	26,982	20,070
営業外費用		
支払利息	621	1,093
手形売却損	1,186	1,237
その他	275	566
営業外費用合計	2,083	2,896
経常利益	126,700	83,186
特別利益		
投資有価証券売却益	8,151	—
特別利益合計	8,151	—
税金等調整前四半期純利益	134,852	83,186
法人税、住民税及び事業税	13,977	15,852
法人税等調整額	34,456	16,573
法人税等合計	48,433	32,425
四半期純利益	86,418	50,761
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,418	50,761

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	86,418	50,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,517	59,962
退職給付に係る調整額	6,233	3,133
その他の包括利益合計	△3,284	63,096
四半期包括利益	83,134	113,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,134	113,857

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,884,950	78,267	17,245	15,980,463	—	15,980,463
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	135	—	135	△135	—
計	15,884,950	78,403	17,245	15,980,599	△135	15,980,463
セグメント利益	257,063	16,586	1,010	274,659	△172,858	101,801

(注)1. セグメント利益の調整額△172,858千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△169,285千円、棚卸資産の調整額△72千円、のれん償却額△3,499千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,404,440	108,939	15,527	15,528,907	—	15,528,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,275	164	—	13,439	△13,439	—
計	15,417,715	109,103	15,527	15,542,347	△13,439	15,528,907
セグメント利益又は損失(△)	250,566	28,285	△829	278,022	△212,009	66,012

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△212,009千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△207,282千円、棚卸資産の調整額△1,226千円、のれん償却額△3,499千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。